

エコプレミアムとは何か

8月9日 水曜日13:30
@国際文化会館にて

安井 至

地球環境への負の影響の表現の例として、最近、国際的レベルで議論が行われたものの一つが、エコプレミアムと呼ばれる温暖化を加速するなんらかの環境影響要素をゼロに近付ける試みであろうか。

そもそもエコプレミアムとは何か。それは、「この思想に従った生活をしていれば、人類活動による地球環境への負の影響をミニマムにすることができ、結果として、地球の持続可能性を最大化することができる」、という思想であると言えそうだ。数値的な表現がどのぐらいのレベルで議論可能かと言われれば、少なくとも現時点ではかなり不確実性が大きく、まだ真剣に取り上げるべき課題では無いとも言えそうではある。しかし、少なくとも2050年までの人間活動の基本的な評価法を確立することは人類にとって義務の一つだと考えれば、ある程度有用な指標である故に、各人が意識的に努力しなければならない、と思うのであるが。

例えば、原発から廃棄される熱の具体的な数値であるが、まず、原発の発電効率は低いことを認識しなければならない。具体的には核燃料によって電気に変えることは、全発電量のほぼ1/3に留まることを認識しなければならない。すなわち、出力100万キロワットの原発は、発電しながら2倍の200万キロワットもの熱を捨てているのである。それでも原発が有用だと考えられる理由は、CO₂の排出量が少ないためだと言えるでしょう。

一例として、東北電力の女川原子力発電所を取り上げて見よう。まず所在地であるが、仙台から石巻などに行く列車(東北本線)の終点が、女川駅である。途中の駅として松島海岸なる有名な観光地があるので、帰路に立ち寄ること(1泊するのも良し)を楽しみとして往復するのが良いでしょう。松島海岸の景色は

、確かに良く出来た盆栽のような景色であり、一見する価値が十二分にありだと思うので。

目的の東北電力女川原子力発電所は、電車の終点女川駅から南にあるかなり大きな牡鹿半島の太平洋を見下ろす崖の上にあるが、私の場合は、特別扱いがあったようなので、皆さんがタクシーなどで発電所まで乗り付けることが可能かどうかは不明であるので、あらかじめ問い合わせをすることをお勧めしたいので、女川原子力発電所の詳細は省略したい。

見学終了後だが、もし、タクシーを待たせることが可能であったら、牡鹿半島の先端までのドライブをされることをお奨めしたい。多くの人にとって、ちょっとした新規な景色、例えば金華山や網地島という島の景色を楽しむことが可能だと思うので。